

七宗町立神淵中学校

活動の種類 (複数回答可)	健康・安全 奉仕 国際理解・親善 その他 ()
活動の単位	全校 学年 委員会 クラブ その他 ()
教育課程上の 主な位置づけ	教科 道徳 特別活動 総合的な学習 児童会・生徒会活動 委員会・部活動 学校行事 その他 ()

1. 活動テーマ

ふるさとを愛し感謝の心を育む

2. 学校紹介

巨大磨崖文字
“御佩郷”



古代（大和朝廷の頃）の美濃には九つの郷があった。その一つが飛騨川の支流、神淵川の上流にある御佩の郷。古代の製鉄地であったといわれている。

また、神淵神社は壬申の乱（672）の際、大海人皇子（後の天武天皇）が皇運挽回祈願のため、神鏡を祀ったことが始まりだといわれている。

このような古代文化の香りと自然豊かな“ふるさと神淵”にある神淵中学校生徒会は、ふるさとを愛し感謝の心を育むために4つの主催行事を行っている。

3. 活動内容

（1）ふるさと神淵ウォークラリー 5月

3年間で神淵地区すべてを巡る、平成15年度より続く校内行事の一つである。神淵地区を三つのルートに分け、毎年一つのルートを歩く。

学年を縦割りにしたグループで歩き、出会った地域の方に気持ちの良いあいさつをしたり、神淵の豊かな自然に触れたりして、問題をグループで解きながら地域巡りを行い、楽しんだ。



（2）ふるさと神淵美化活動 8月

平成4年度から続く行事である。当時は、神淵川清掃として年3回取り組んでいたが、現在は、「ふるさと神淵美化活動」と名を変え、年1回実施している。地区毎に、事前に清掃場所を決め、川や道路の清掃を行った。

今年は、前日の雨の影響で、川に入っの活動は行わなかったが、ごみ拾いを中心に地域清掃を実施した。



(3) ふるさと神渚ふれあい訪問 12月

平成10年度から続く行事である。高齢者だけでお住まいのお宅を訪問し、手作りのカレンダーや木工作品、鉢植えをプレゼントし、窓拭きなどの清掃活動を行った。また、昔の話などを聞かせていただいたり、トランプなどのゲームをしたりして交流を深めた。本年度も、高齢者宅の他に地域福祉センター(サンホーム七宗)や神渚公民館においても活動を行った。



(4) ネパール教育支援活動 1月

平成15年度より続く、ネパールへの教育支援活動。

本校のこの活動は、当時生徒会執行委員であった生徒の「ネパールの子どもたちは『学びたい』と思っても学校へ行くことができない子がいる。ネパールの子どもたちのために、私たちが何かできないだろうか。」という思いから始まった。今年度も、語り継がれた先輩の思いを大切に、募金活動を実施した。今もなお、支援先のネパールの学校の図書館には「神渚中文庫」があり、多くの子どもたちに利用されている。



ここがポイント	ねらいを明確にし、内容を工夫する。毎年継続して行っている行事を常に見直す。
ここがねらい	ふるさとを愛し感謝の心を育むために、豊かな自然と温かい地域の教育力を生かす。また、ネパール教育支援活動を通して、国際理解を深める。
効 果	地域はもちろん、世界にも目を向けた活動を通して、人と人との絆の大切さに気付かせ、ふるさとを愛し感謝の心を育むことができた。
学校等のコメント	本校は地域の方々によって支えられている学校である。今後は、地域・家庭・学校の連携を一層密にし、ふるさとを愛し感謝の心を育むために、各行事に改善を加え、推進していく。

担当者氏名： 奥村 雅人